

平成24年度 山口県道路交通渋滞対策部会（第3回）
議事概要

1. 日 時 平成24年12月27日（木） 14:00～

2. 場 所 山口県庁共用第2会議室（4階）

3. 出席者

【委員】

北間 弘康	国土交通省 中国地方整備局	道路計画課長
藤原 功	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	計画課長
松村 守	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	副所長兼交通対策課長
番原 洋治	国土交通省 中国運輸支局	首席運輸企画専門官
岡村 卓徳	山口県警察本部	交通規制課長
秋本 武美	山口県土木建築部	道路整備課主幹（代理）
藤山 一郎	山口県土木建築部	道路建設課長
師井 努	山口県土木建築部	都市計画課長
篠原 英道	山口県土木建築部	道路建設課調整官
宗方 鉄生	西日本高速道路株式会社 中国支社	企画調整課長

4. 議事

- (1) 【一般道路】パブリックコメントの結果について
- (2) 【一般道路】パブリックコメント意見箇所の取扱について
- (3) 【一般道路】主要渋滞箇所の特定について
- (4) 【高速道路等】パブリックコメントの結果について
- (5) 今後のスケジュールについて

5. 議事概要

- ・（事務局）パブリックコメントを平成24年11月21日（水）～12月4日（火）に実施、285の回答があった。主要渋滞箇所（素案）以外の追加意見箇所は113箇所、主要渋滞箇所（素案）に対する否定意見32箇所について渋滞していないという回答があった。データ及び、現地確認等を実施し、主要渋滞箇所を3エリア・14区間・19箇所で開催を行った。
- ・エリア、区間、箇所の考え方は、全国共通である。
- ・公表の方法、資料については全国統一を図りたいと考えており、調整後お伝えする。
- ・素案の段階では、センサス区間や道路管理のなかで感じる79箇所を抽出しており、パブコメでは、センサス区間でない箇所や管理者サイドからの意見のない箇所があがっている。
- ・素案の79箇所から57箇所に減っている原因は、現地確認で一度の信号ではけたのが、また次の信号で停車するという状況で渋滞ではないと判断した箇所、現地の構造により速度低下が起こる箇所等で現地確認を行い渋滞でないと判断した。
- ・今後、年明けにこの箇所を公表する、年度内に対策方針がまとまった段階で次回部会を開催する。